

# 三菱ふそう環境・社会報告書2012について

※ 本書中の「三菱ふそう」とは、三菱ふそうトラック・バス株式会社を示します

## 編集方針

三菱ふそうは、トラック・バスという公共性のある製品を世の中に送り出す企業として当社の環境保全の取り組み、社会活動などをステークホルダー（企業活動に関わるあらゆる関係者）の皆様へ情報開示することを目的に、環境・社会報告書2012を発行します。

## 報告対象期間

本報告書の対象範囲は、基本的に2011年（2011年1月～2011年12月）とします。ただし、各種法律や業界関連で年度をベースとした取り組みについて、一部2011年度（2011年4月～2012年3月）における内容及び実績データを報告します。

## 報告対象範囲

主として三菱ふそうの日本国内における環境活動、社会とのかわりを報告します。環境活動については、企業活動全体を通じた環境負荷の低減実績やその活動について、トラック・バスの開発・設計、調達、生産、物流、販売、廃棄・リサイクルという流れで報告します。

## 参照ガイドライン

環境省発行の「環境報告ガイドライン（2007年版）」に基づいて掲載内容の充実を図るとともに、分かりやすさの向上に努めています。

## 企業概要

### シンボルマーク



商号	三菱ふそうトラック・バス株式会社 Mitsubishi Fuso Truck and Bus Corporation
設立	2003年（平成15年）1月6日
本社	〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田890-12
資本金	350億円
主な事業	トラック・バス、産業エンジンなどの開発、設計、製造、売買、輸出入、その他取引業
在籍人員	約12,000名
売上高	5,490億円（2011年1月～12月）
販売台数	国内 26,959台／海外 120,694台 合計 147,653台（2011年1月～12月）
ホームページアドレス	<a href="http://www.mitsubishi-fuso.com/">http://www.mitsubishi-fuso.com/</a>



私たち三菱ふそうトラック・バス株式会社は、すべての人々の暮らしに密接にかかわるトラックやバスを製造販売する会社として、大切な社会や環境、大切なお客様のために何が出来るかを常に考えています。「お客様にとってのNo.1」「最も信頼される企業」に少しでも近づくため、私たちの企業活動を「All for you」という言葉に込め、すべての大切な社会や環境、そして、大切なお客さまのために役立てていけるよう追求しつづけます。

<b>三菱ふそう環境・社会報告書2012について</b>	P.1
<b>三菱ふそうの役割</b>	P.3
<b>トップコミットメント</b>	P.4
<b>TOPICS</b>	
三菱ふそうの新ビジョン「FUSO 2015」	P.5
新型「キャンター エコハイブリッド」	P.7
国際的品質マネジメントシステム「ISO/TS16949」取得	P.10
<b>環境マネジメント</b>	
環境指針／環境会議	P.11
新環境中期行動計画	P.12
ISO14001の取り組み／緊急時対応、環境に関する事故など	P.13
環境会計／環境コミュニケーション	P.14
<b>環境負荷低減への取り組み</b>	
自動車の一生と環境負荷／開発・設計	P.15
調達	P.18
生産	P.19
海外関連会社の取り組み	P.21
物流	P.22
販売	P.23
リサイクル	P.24
<b>社会との関わり</b>	
コンプライアンス	P.25
お客様との関わり	P.27
福祉・社会活動／地域との関わり	P.30
従業員との関わり	P.31
製作所レポート（2011年度実績）	P.33
未曾有の大震災を乗り越えて ―東日本大震災の復興支援について―	P.34



# 三菱ふそうの役割

## FUSOの位置づけ

ダイムラー・トラック部門は、メルセデス・ベンツ、三菱ふそう（MFTBC）、フレイトライナー、バーラト・ベンツという4つの主要ブランドで構成されています。

すなわち、三菱ふそうは、世界最大のトラックメーカーを構成する一員なのです。



Mercedes-Benz

欧州及び南米、中近東において高性能商用車ブランドとしての存在を不動のものとしている「メルセデス・ベンツ」。その輝かしい歴史を背景に、安全・環境技術において世界の最先端をリードし続けています。



FUSO

1932年にB46型バス「ふそう」を製造してから約80年。現在、アジアをはじめとして世界中に認知されるブランドへと躍進。品質・技術・サービスのすべてにおいて「お客様第一」を目指して、走り続けています。



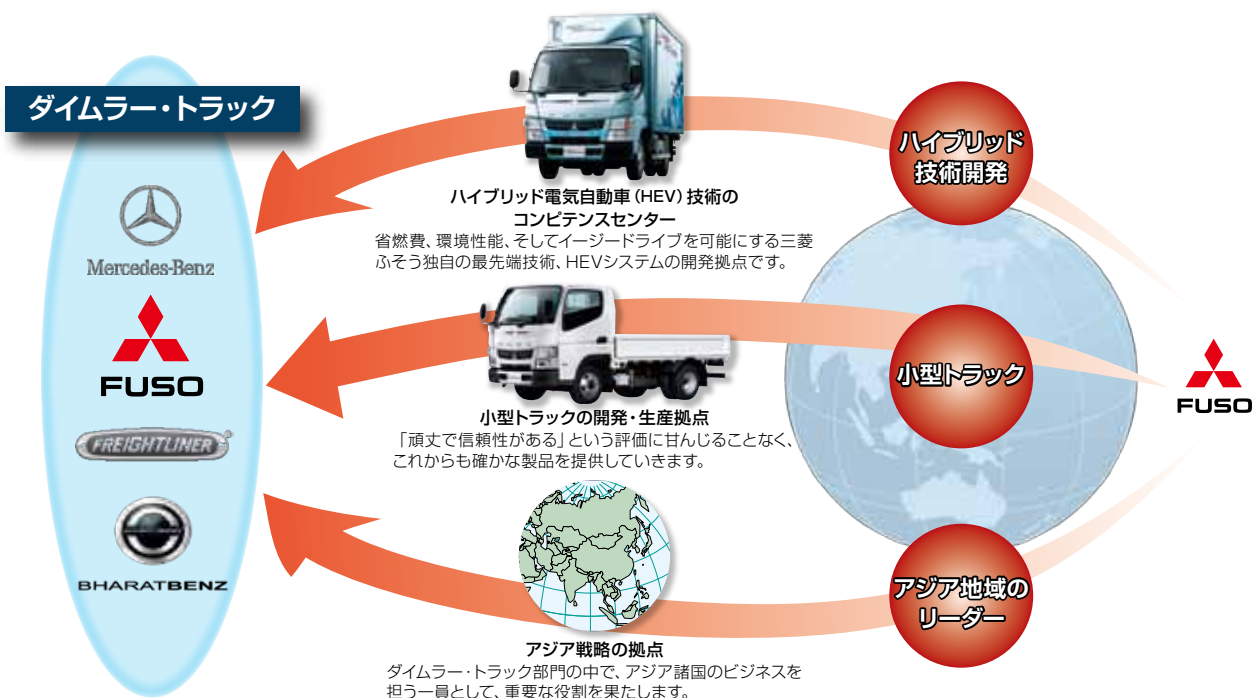
北米において、大中型トラックのリーディングブランドである「フレイトライナー」。ダイムラー・トラック・ノース・アメリカの傘下ブランドとして「ウェスタン・スター」「トーマス・ビルト・バス」「フレイトライナー・カスタム・シャシ」「デトロイト・ディーゼル」とともに、高品質の製品・サービスを提供しています。



BHARATBENZ

インド向けに2011年に誕生した新ブランドが「バーラト・ベンツ」。ダイムラーのDNAとインド市場のノウハウを融合させ、インド特有の道路事情、輸送事情に対応したトラックを開発・生産しています。三菱ふそうは車両の開発・生産を全面的にサポートしています。

## ダイムラー・トラック部門における三菱ふそうの役割



## 刊行にあたって

昨年は、東日本大震災という未曾有の災害に直面しました。被災された方々には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

また、被災地の復興のために、日本におけるダイムラー・グループの一員として社会的な責任を果たしてまいります。

近年、企業活動における環境保全や社会貢献への活動の重要性が高まっており、それらの活動を含めて「持続的な発展＝サステナビリティ」という言葉が世界的なキーワードになっております。ダイムラー社におきましても、毎年「サステナビリティレポート」によりこれらの活動の内容について公表しており、三菱ふそうにおきましても、毎年本書「環境・社会報告書」としてその内容をまとめ、公表しております。

現在進めております「FUSO 2015」という企業ビジョンにおいて、私たちは、環境保全活動や社会貢献活動の充実を図り、業界をリード出来るよう、様々な取り組みを計画、実施しております。

また、一層の環境保全を目指し、「新環境中期行動計画」を策定し、「開発」、「生産」、「販売」、「サービス」などの各分野を中心に全社を挙げて活動に取り組んでおります。

製品面では、厳しい燃費基準と排出ガス規制をクリアすべく、ここ数年、優れた環境性能を有したラインナップを送り出してきましたが、本年5月に、小型ハイブリッドトラック「キャンター エコ ハイブリッド」の新型車を発売しました。小型トラック世界初のデュアルクラッチ式トランスミッション「DUONIC®」をはじめとした数々の新機軸に加え、画期的なハイブリッドシステムを構築することにより、飛躍的な環境性能の向上を実現しました。今後も近い将来へ向けて、大型ハイブリッドトラックや数々の低燃費技術を有する次世代車両の研究・開発に取り組んでまいります。

私たち三菱ふそうは、「All for you」の企業理念のもと、お客様、ビジネスパートナー、そして社会全体の利益を考え、多くの方々のお役に立てるよう、社員・関係者一丸となって努力してまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

皆様の本報告書に対する率直なご意見・ご感想を頂ければ、幸いです。



三菱ふそうトラック・バス（株）  
取締役会長  
鈴木 孝男

鈴木孝男



三菱ふそうトラック・バス（株）  
代表取締役社長  
最高経営責任者（CEO）  
アルバート・キルヒマン

Albert Kilbmann